

幌西小だより

平成29年4月25日

第2号

＜教育目標＞

心豊かでたくましく生きぬく
実践力のある人間の育成

登別市立幌別西小学校

TEL: 0143-85-2364

FAX: 0143-85-2025

H P: http://www.noboribetsu.ed.jp/~hn_info/

連休を前にして



新年度が始まって2週間、1年生たちの給食も始まり、みんな毎日元気に通っています・・・、と書こうと思っていたところ、この時期になってインフルエンザが、蔓延しています。新しいクラスや友達、先生にも慣れてきて、張り詰めていた気持ちが、知らず知らずのうちに疲れとなっていたかもしれません。このようなときこそ「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムを崩さないことが大切になります。

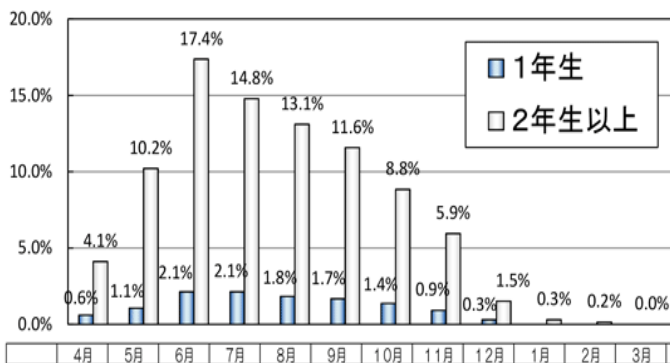
さて、ゴールデンウィークを前にして、今一度改めて交通安全についてご家庭でお子さんと一緒に考えていただきたいと思います。5月は小学生の交通事故が急増していく月です。だんだんと慎重さが薄れて、最初の緊張も緩み、思わぬ事故にあう可能性が高まるのです。21



日に交通安全教室で、安全な

歩行や自転車の乗り方を練習しました。ご家庭でも、お子さんが家を出る前に「飛び出すんでないよ」「車に気を付けるんだよ」と一言声をか

小学生の交通事故月別発生状況と事故の傾向(道警 HP より)



小学生の交通事故の特徴

「14時～18時の割合が6割」「下校時」

「自宅近く」「自転車の事故」

歩行中の交通事故は「飛び出し」が原因になることが多く、「自転車の交通事故」は、交差点での安全確認不足が原因になっているようです。また、小学生の事故は自宅から500メートル以内の場所で起きている確率が高いのが特徴です。自宅近くなので安心感や開放感などで気が緩み、注意不足になるのが原因だと言われています。

小学生の事故は一人のときより複数でいるときの方が多い

小学生の子どもは何か自分の身に危険が迫ると走り出す傾向があります。例えば鬼ごっこなどしていて鬼に捕まりそうになると、鬼役の子どもしか目に入らなくなり、慌てて猛スピードで走り出します。このように友達と遊んでいる際に急に走り出すと事故に遭いやすくなるのです。

全校参観日、ご来校ありがとうございました



21日の参観日、やはり子ども達はおうちの人が見に来るのが嬉しくて、教室は朝から賑やかだったそうです。今年度も、6回の参観日を予定しています。



【メール配信サービス登録のお願い】

先日の臨休の際は、本校で採用しているメール配信サービスを活用して連絡をいたしました。緊急連絡は連絡網を活用することが基本ですが、メールによって、不審者情報や、行事の案内、緊急時の連絡補助等、いろいろな情報を発信しています。未登録のご家庭はこれを機に登録をよろしくお願いいたします（登録されるときは、下のバーコードを読み取るか、hn_info@ml.nishi-iburi.jpへ空メールを送信していただき、表示されるメッセージに従っていただけますと完了します）。また、今回、臨休に係わって18日から19日にかけてメールを3回発信しました。「登録済みのはずなのに今回メールが届かなかった」というご家庭は、未登録になっている可能性もありますので登録状況を学校にご確認ください(85-2364)。

また、登録を試みただけできないというご家庭は、学校又は担任にご連絡ください。



5月の行事予定

1	月	家庭訪問
2	火	家庭訪問 1年生を迎える会
8	月	避難訓練 クラブ 青少協挨拶運動
9	火	清掃なし日課 フッ素洗口開始
11	木	内科検診(1・3年)
12	金	視力検査(1年) PTA第1回役員会
15	月	児童委員会
16	火	こぐま号 4年校外学習(消防署見学)
17	水	校外班集会(清掃なし日課)
18	木	知能検査(2・4年) 内科検診(2・5年)
19	金	外清掃 清掃なし日課
20	土	PTA教材園整備
22	月	運動会特別日課開始 クラブ② 読み聞かせ
24	水	下校指導(2・5年) PTA合同会議
25	木	内科検診(4・6年)
27	土	室蘭地方小学生陸上大会
29	月	運動会実行委員会
31	水	心臓検診(1年)

できるでしょうか？ことわざの問題

H29 全国学力・学習状況調査・国語Aの問題から)

■「もちもち屋」の使い方例として適切なものをひとつ選びましょう。(「ふすと」は「ことわざ」の意味も書いてありましたが)

- 1 もちはもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、趣味はいろいろあったほうがよい。
- 2 もちはもち屋と言うように、卓球の審判なら卓球クラブの友達に頼むほうがよい。
- 3 もちはもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだほうがよい。

言葉の知識は、日ごろからの読書量に比例します。今年も朝読書に取り組みますが、家でも本を手取る機会が増えると言葉が豊かになります。